

日本共産党 橋詰 圭一 議員

地域づくり協議会の課題について

(質問) ①自治会事務委託料が一括交付金として協議会に交付される場合、各自治会に入る委託費は現行単価より少なくなるのではないか。委託事務の内容を見直すことも必要ではないか。②生活支援コーディネーターは、地域づくり協議会にどのように関わるのか。③市は協議会の事務局員へのフォローを行うのか。

(答弁) ①自治会への配分が現行より少なくなることも想定される。委託事務の見直しを求める意見もあり、庁内でも検討を行っていく。②生活支援コーディネーターは、生活支援や介護予防に関する地域課題について相談を受け、地域づくり協議会をはじめ、地域における多様な主体の方々と協議しながら、その解決に向けて、必要な支援などを行う。③側面的な立場からの支援を引き続き行っていく。

その他の質問 ○ 橋梁の耐震化と津波避難路について

日本共産党 森川ヤスエ 議員

小中学校トイレの早期改修について

(質問) いろいろな方から学校のトイレなどかなりませんかと声が掛かる。多くの市民が悪臭の改善、洋式化を求めている学校トイレはいつになれば改善されるのか。水をかけ、ブラシでこすって掃除をしなければならない湿式床は衛生上も問題があり、湿式床のまま洋式化するだけでは問題は改善されない。床

を乾式化し、洋式トイレとするよう求める。

(答弁) 小中学校トイレについては、校舎の改築や大規模改修の機会に併せて、便器の洋式化や床の乾式化を行ってきている。学校トイレの整備の必要性は十分認識しているが、まずは、事業化に踏み出した石薬師小学校屋内運動場や大木中学校の改築事業に傾注したいと考えている。学校トイレの整備事業は、これから策定する学校施設の整備方針の中に位置付けを行っていく。

その他の質問 ○ 多子世帯の学校給食費軽減について

日本共産党 石田 秀三 議員

国民健康保険料の負担軽減を

(質問) 国保には、公的医療保険の中で、多くの不利な制度的欠陥がある。その1つが、生まれたばかりの子どもからも保険料を取っていることである。「均等割」保険料は1人4万800円、3人兄弟なら年12万2,400円もの負担が掛けられている。子育て支援を重要な政策の柱にしている末松市長に、子どもから保

険料を取り立てる制度的欠陥の是正を、市として進めてきた子ども医療費無料化の延長として制度化することを求める。

(答弁) 子どもにかかる均等割の総額は、15歳までは約3,300人で1億3,400万円、18歳までは約4,100人で1億6,700万円である。軽減するには財源が必要だが、この財源を確保する状況にない。国に軽減制度の創設を要望している。

その他の質問 ○ 学童保育の現状について

市民クラブ 市川 哲夫 議員

セットバックについて

(質問) 道路後退用地内の擁壁などの除却に要する助成金制度を地域の特性などを考慮した助成制度へ改善はできないか。また、寄附しない道路後退用地の舗装整備を行うことはできないか。

(答弁) 地域の特性などを考慮した助成制度への改善については、石積みや長大な擁壁などは、

市街化調整区域に限らず、市全域に点在していることから、地域に限定せず、個別の対象物に対する助成制度として整理している。

寄附しない道路の舗装整備については、建築基準法の規定により、道路後退しても市に用地を寄附しない限り、原則お断りしている。

県内でセットバック事業を実施、または検討している行政庁で狭あい道路整備事業関係担当者会議を設置しており、諸課題について協議、検討を行っていきたいと考えている。

その他の質問 ○ 市南部のインフラ整備について